

# 2014年9月1日 掲載 物流二ッポン

## 千葉支店リニューアル

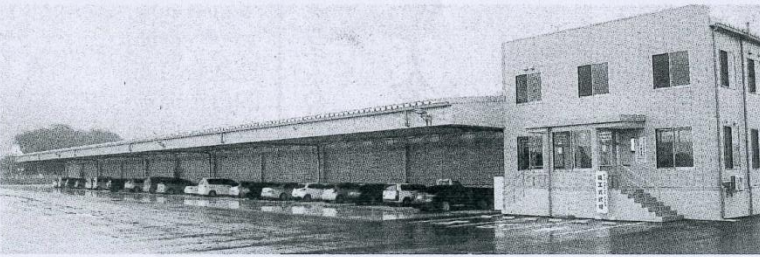
### 第一貨物 荷さばき場2.5倍

第一貨物（武藤幸規社 長、山形市）は1日、千葉支店を千葉市若葉区から四街道市に移転し、リニューアルオープンする。

従来のターミナルに比べ、荷さばきスペースを2.5倍に拡大し、1日当たりの取り扱い貨物量を1.3倍程度に引き上げる。こ

れまで、千葉方面に配送する貨物の一部を東京支店（東京都江東区）で扱っていたが、今後は千葉支店に集約し配送効率を高める。また、東京支店の空いたスペースを活用して、集配業務の効率化を進め、新規顧客獲得につなげていく。

千葉県には1968年に



北側スペースは底の高さを8.5mとし、大型車30両が接車可能

進出し、71年に従来の千葉支店を開設。老朽化が進み、手狭になっていた。

新支店の敷地面積は3万8千平方m、事務所棟と荷さばき場を合わせた延べ床面積が6600平方m。鉄骨造2階建てで、1階のターミナルには3500平方mの荷さばきスペースを用意。到着便メーンの北側スペースは底（ひさし）の高さを8.5mにし、一度に大型車30両が接車できる。また、出発便メーンの南側スペースにはインドア式の荷さばきスペースを設け、天候に左右されず作業が可能。照明にはLED（発光ダイオード）を採用した。事務所棟の2階には、カプセルタイプの仮眠室を新たに用意。1度に24人が休める。

移転に伴い、東京支店から配送していた千葉方面の荷物を集約。作業効率の向上を見込み、従来の千葉支店の配送エリアを拡大する。また、これに伴い、東京支店の空きスペースを有効活用するほか、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）周辺の厚木、八潮、入間の各支店を含めた集配エリアを見直し、業務の効率性を高める。

8月28日の竣工式で、武藤社長は「念願の移転が完了し、首都圏でのサービス体制がほぼ完璧に整った。都市間輸送をメーンとする使命を果たせるよう、今後とも画期的なサービスを実現していく」と述べた。

（北博樹）